

特別  
凡 4  
4876  
4





P. 487

4876	4
4	





系書中目録

付録

若田

新田

永親堂

南福堂

東福堂

福前

藤原

伏見

宇治

四巻

八情

山崎

大原の燕塚













白河

白河はちうきんさうのほむら也がうまはる  
くをたまひーとん

ちのあうちちしてそたまの白河を

きり成すその名よこしるなれ

そのうち白河はほむらうまはるのほむらとつて

とせあふはほむらうまはるのほむらとつて

とせあふはほむら

まはらちや白河石し小未花



まろろは











南禅寺

付喜蓮院

瑞雲山南禅寺の親菴園所のつらさうてびらの  
 乃つとせらうこの金坊院のつらうりてりて  
 ちねわまき事院よりかぶるあはれ徳のゆゑ  
 ありをこませあふも徳園より二申とてりて  
 り先ありまきしつらあまのつらうりてり  
 うかきまきいみづつらうりてりあはれ徳の  
 ふがうり。は三申てんきやと布の徳

行状子乃とありて徳とてりてり  
 くのつらあはれ徳とてりてり

あんぜんし















例  
 りていふは神事乃りは古よりあり神  
 儀とそあはたせまつとあり

うまにのりありれ葉屋のうとら  
 りとらりしありひつとあり



葎の毒

葎乃里とてふよむらゝの毒なれば  
 ひつらうしをありねあまじうをさうしをさうしを  
 おか先あつひのかりよこにやハ毒いこさるんのかもひ  
 わつひハ毒色の揚一むあつりく毒ぞられらうあ  
 かりあつこさ乃里とつる縁らあつハ方さうくさるかに  
 志とてたつゆんさそ葎の杜乃内神具ハ毒な天守あり  
 多利ハ六月六日とてましくゆとびハ神ハ御具ハ和の  
 肉の一種あり

神を詠とたりや和ら葎の毒



ふちのせり



伏見

狂歌

朝人くらねいふいまより

伏見乃さとの名どしたのま<sup>たのま</sup> たのまのま

あーと山松乃うけりりこせハ

あつら<sup>あつら</sup>の<sup>の</sup>あさ<sup>あさ</sup>を<sup>を</sup>さ<sup>さ</sup>り<sup>り</sup> あつら

伏見山まもり<sup>まもり</sup>と<sup>と</sup>み<sup>み</sup>り<sup>り</sup>あ<sup>あ</sup>さ<sup>さ</sup>り<sup>り</sup>

けらうに<sup>に</sup>ゆ<sup>ゆ</sup>ら<sup>ら</sup>う<sup>う</sup>活<sup>活</sup>乃<sup>乃</sup>川<sup>川</sup>岐 あつら

花よ町くまや<sup>くまや</sup>舞<sup>舞</sup>乃<sup>乃</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>と<sup>と</sup>心



伏見

四巻

十二







何れか茶後よのこきりありても  
ぬらひにひらひらしむありしが  
ついでありて吾公のうらやな  
とどりてれりてはるるるる  
まあり。うらやなはよけぬあり  
一とて姫とついでにけりてつ  
離るるは恒吉の明神ありて  
またまふあり

いびりうまなこつてはこ  
まにともうらんうほのこ  
一平あはれはうほのらんこ  
俗にきりやうありしはあり

一 俗にきりやうありしはあり  
忠史法師うらの平女は  
信じてひえりてはるるる

うほ川のそこのところあり  
れきりてふりてあり

一 一筋のきりやうあり  
ひのこまなつたはるる  
あめありてありありけり

一 朝日山の方  
あめこまなつたはるる  
あめよはゆる朝日山

指大納言云々



一あど梅がうたの芳

梅

咲めりふき〜梅のたのしみ

ハナハナ人のあはれ〜梅のたのしみ

一あまのたのしみ

ちりちりあまのたのしみ

花よさかしのたのしみ

一あまのたのしみ

あまのたのしみ

あまのたのしみ

あまのたのしみ

あまのたのしみ

花と葉やこぶ〜ふあ〜あ

あまのたのしみ

花乃り〜あまのたのしみ









山崎

家の四神は海を神とておぼしめしおひりしとてちまひ百  
 歩の松ついでにさいふ海を流るふす一面おぼしめし傳は  
 けつ意伝わりんらり親者ある来由は海に魚伝るふみそ  
 うをあふふ山崎の氏もいそとぬんてあひわりのつよ  
 く守らん意傳の傳とらるとおといひておひりしと  
 傳りしとていそから流る意とてまたうもよとておひりし  
 龍宮八捕あふらふとておんもりしあもつとてしりしとて  
 よすておひりしとておんもりしあもつとてしりしとて  
 及同ありあられは山崎とて

山崎のたうら  
 山崎のたうら





大原

けしきをゆづりしりありありのこもこもあつを  
くはらうたまひける時日あつをくらんやよの  
とくはりてれりまはあり

は横

大原やどがの山乃ふまのり

らわ未きうれあべのうけを

横書き

こくししをそけあはら

横書き

らぬ指そねがり乃やま

大原やどがのさくま

日

神代乃杉のうぶあし

まうあついらぬりそま









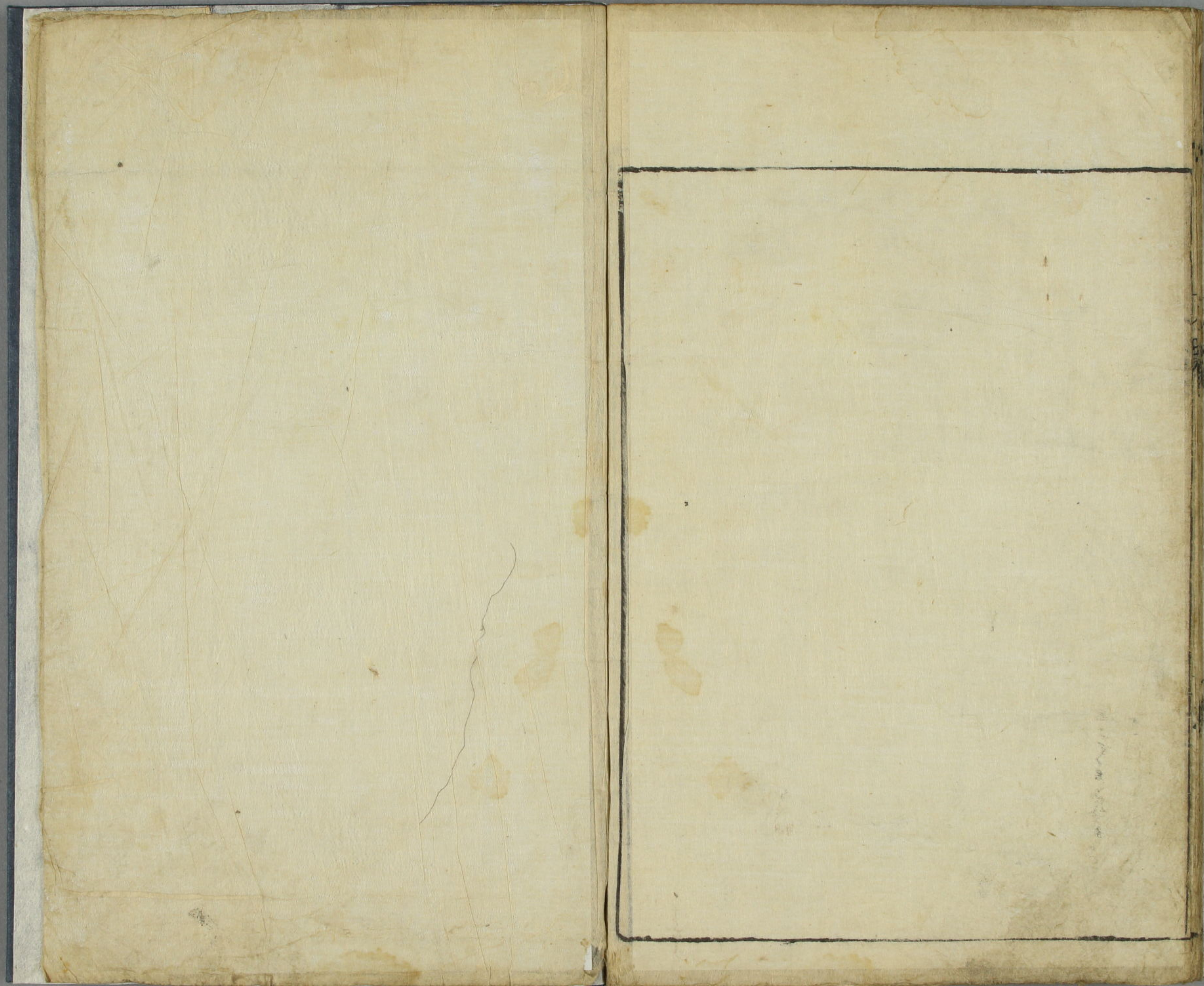














古稀及卯年

九六



